

コロケーション情報による 連体詞型接辞性字音形態素「当」の考察

張 明

[キーワード：連体詞型、接辞性字音形態素、「当」、語種、意味分野]

1. はじめに

連体詞型接辞性字音形態素「当」は一般の国語辞典では以下のように定義されている。

- (1) (造語成分) ㊦㊧ この。その。「当月・当時・当年・当方・当店・当劇場」[「当劇場」の「当」は、連体詞的]

『新明解国語辞典』第七版、机上演(三省堂、2012)

- (2) ㊦㊧名造㊨③[連体詞的に]この。その。「当家・当社・当地・当協会・当劇場・当研究所」

『新選国語辞典』第九版(小学館、2011)

「当」は「この」「その」で記述されるのが多く、決して間違いとは言えないが、「当」の全貌を明らかにするには、まだ物足りないといえよう。

例えば、次の(3)のように、「当」に置き換えられない「この」がある。それは「当」が「付近」と結合しにくいからだと考えられる。

- (3) この付近は自転車及び原動機付自転車(以下、自転車等)の放置禁止区域です。
自転車等駐車場を利用してください。

(東京都港区にある告知 下線は引用者によるものである。以下も同様)

「当」が「付近」と結合しにくいことは「当」の意味用法と関係があるかもしれないが、「当」の意味用法はさておき、まず、「当」はどのような語と結合するのかを明確にしておきたい。

そこで、本稿は次の(4)のように、連体詞型接辞性字音形態素「当」を対象として、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下BCCWJと省略)より収集した用例に基づき、「当」はどのような後接語と結合するのを中心に考察する。

- (4) 当財団は、株式会社ベスト電器の創業者・故北田光男氏が、私財を提供して平成10年3月に設立した財団(理事長：有菌憲一氏)です。

(<http://kitadazaidan.or.jp/about.html>)

2. 先行研究

管見のかぎり、接辞性字音形態素「当」に関する先行研究がないため、ここでは、「接辞性字音形態素」と「連体詞型」の先行研究をまとめながら、二つの用語を説明する。

2.1 接辞性字音形態素

語を構成する要素は形態素と呼ばれている。分類する基準によって、分類の仕方も異なる。例えば、語種によって、「和語形態素」「外来語形態素」「字音形態素」に分類されている。また、語種を問わず、単独で語を構成できるかどうかで、「自立形式」と「結合形式」とに分けられる。山下(2004)に簡潔な指摘がある。

- (5) 自立形式か結合形式かに関わらず、語において中核的な意味を担う形態素を「語基」、結合形式で、結合対象語基に形式的な意味を添えたり、合成語の品詞性を決定する機能をもったりする形態素を「接辞」に分ける。しかし、形態・意味・造語における機能のいずれの点から見ても、これら「語基」と「接辞」を明確に分けることは容易ではない。語の意味を担う要素として、その意味が中核的か、形式的かという点では、いくつかの段階が想定でき、それらは連続的な関係にあると言える。(山下2004:148)

上の引用からわかるように、「語基」と「接辞」を明確に二分することは難しい。ゆえに、両者を区別せずに、「形態素」という用語が用いられる傾向が見られる。

本稿と同様に、「接辞性字音形態素」という用語は山下(2013)が提唱したものである。山下(2013)では、接辞性字音形態素の定義を以下のように述べている。

- (6) 野村雅昭(1978, p.104)では、「すでに存在する、和語・外来語の語基、および、字音複合語基、そして、それらの結合形に、前部分あるいは後部分から結合する、字音形態素」を「接辞性字音語基」と呼んでいる。本稿の「接辞性字音形態素」は、この「接辞性字音語基」と重なるものである。

(山下2013:83)

そこで、本稿は野村(1978)に規定されている「接辞性字音語基」の定義を借用する。つまり、定義としては、本稿の「接辞性字音形態素」は野村(1978)の「接辞性字音語基」と同じものである。ただし、「接辞」と「語基」は相補的な別概念を指しているものであり、「接辞性字音語基」という、一つの用語に「接辞」と「語基」が同時に使われる名称に多少違和感を覚えるため、「接辞性字音形態素」という用語を使うことにする。

また、接辞性字音形態素の定義により、「当県」「当駅」などの「県」や「駅」は字音複合語基でないため、「県」「駅」などの一字字音形態素と結合し、二字漢語になる例は研究対象から除外する。

2.2 連体詞型

野村（1978）は現代新聞の用例をもとに、接辞性字音語基の用法の分類について詳細な考察を行っている。前部分の接辞性語基の分類は、「前部分語基と後部分語基の品詞性、および、その結合関係によったものである（野村1978：112）」とし、異なり語数250の前部分の接辞性語基を「①体言型」「②連体修飾型」「③連用修飾型」「④連体詞型」「⑤用言型」「⑥否定辞型」「⑦数量限定型」「⑧敬意添加型」の8つに分類した。そのうち、「④連体詞型」は以下のようなものがあるという。

（7）④連体詞型…同（～議員）・本（～〇日）・前（～会長）・現（～総裁）・旧（～陸軍）・今（～国会）・来（～シーズン）・故（～〇〇氏）・副（～総理）・準（～決勝）・全（～日本）・総（～選挙）・各（～省庁）・両（～陛下）・諸（～外国）
また、連体詞型についての考察は以下のようにまとめられる。

まず、前部分語基と後部分語基のあいだに、ポーズがおかれるものがあること、次に、「文脈内での指示、他者との関係の表示、範囲・量の限定など、直接、内容にかかわらないものといった特徴をあげることができよう」（野村1978：113）ということである。また、連体詞型は、「⑥否定辞型」の「非-」、「⑤用言型」の「反-」と「超-」とは別の意味を表すが、似た構造も持っている。「非-」グループは「Aトハ別種ノA」という意味構造であるのに対して、連体詞型の「同-」を例にすると、「別種ノAデハナイ、ソノA」という意味構造である。意味として、まったく違うように見えるが、同じ意味構造を持っている。

以上、本稿で使われる「連体詞型接辞性字音形態素」はどのようなものであるのかを簡単に述べた。まとめると、「接辞性字音形態素」は山下（2013）に由来する用語で、定義としては、野村（1978）の「接辞性字音語基」の定義と一致する。「連体詞型」は野村（1978）に規定される「連体詞型」を認める。それを確かめた上で、考察に入る。

3. 資料と考察対象

本稿では、資料として、BCCWJを使用した。「短単位検索」という検索方法を使い、「WHERE 句」をキーとし、「WHERE 句が書字形出現形 LIKE “当%” AND 語彙素読み=“トウ%” という条件で検索し、2075件の検索結果を得た。

しかし、設定条件と一致しない用例も検出されたため、BCCWJから見つかった用例すべてを筆者自身で判断し、手作業で、連体詞型接辞性字音形態素でない例文を除外する。結果は表1のように示される。

表1 BCCWJから収集した用例数

	用例数
連体詞型接辞性字音形態素用法	1119 (異なり語数は233)
「当十の十名詞」用法	623
研究対象にならないもの	333
合計	2075

4. で用いるデータは「連体詞型接辞性字音形態素用法」のデータである。「当十の十名詞」用法については、本稿では中心的に扱わず、5. においてふれるだけにとどめる。「研究対象にならないもの」はゴミとして、排除する。例えば、語彙素読み＝“トウ”という条件を設定したにもかかわらず、(8)のような「トウ」と読まない例も検出された。

(8) 同社の秋山政徳会長は「世界有数のハイビジョン放送会社を目指す」と語り、主力のCS放送では全体の約半数に当たる百チャンネル近くを現状の通常画質からハイビジョンに切り替える方針を明らかにした。(Yahoo! ブログ)

(8)の「当たる」は「アタル」と読み、「トウ」と読まないことは明らかであろう。それらをデータから排除する。

また、2.1でも述べた通り、(9)のように、「当」が一字字音形態素と結合し、二字漢語になる例を対象外とする。

(9) つまり当案では議会の不信任決議権対首長の解散権という権力バランス論を考えていないことになる

(白崎勇人『政策秘書が書く国会議員改革』長崎出版、2003)

しかし、「島」「宮」「宿」などの後接語は、それぞれ、和語として発音されるか、漢語として発音されるか、二通りの発音がある。音声的な証拠はないが、「トウシマ」「トウミヤ」「トウヤド」など、和語として使われるのが自然だと判断した場合は、研究対象に入れた。それに対し、「駅」「園」「所」などの後接語は、「ゾノ」「トコロ」など、和語として使われる語もあるが、「当」と結合するとき、漢語として発音されるのが自然だと判断し、研究対象から外した。具体的には、以下の表2の通りである。

表2 「当」と結合する漢字一字のもの

和語と判断したもの (考察対象としたもの)	字音形態素と判断したもの (考察対象からはずしたもの)
馬、係、組、藏、島、城、宮、宿	案、駅、園、学、艦、機、軍、郡、 県、州、署、所(処)、図、像、隊、 団、邸、道、藩、法

4. 調査結果

調査結果は主として、後接語の語種と意味分野を中心に考察していく。それぞれの分析をした後に、語種と意味分野との関係も見ていく。

4.1 語種について

表3は「当」の後接語について語種別にその異なり語数と延べ語数を示したものである。

表3 「当」の後接語の語種別語数と比率

語種		異なり語数	延べ語数
漢語	二字漢語	81 (34.76%)	302 (26.99%)
	三字漢語	46 (19.74%)	417 (37.27%)
	四字漢語	8 (3.43%)	13 (1.16%)
	五字漢語	7 (3.00%)	10 (0.89%)
	六字以上の漢語	9 (3.86%)	10 (0.89%)
	小計	151 (64.81%)	752 (67.20%)
和語		13 (5.58%)	29 (2.59%)
外来語		45 (19.31%)	293 (26.18%)
混種語		24 (10.30%)	45 (4.02%)
計		233 (100%)	1119 (100%)

異なり語数も延べ語数も、「漢語・外来語・混種語・和語」という順に語数が多いことがわかる。「当」の後接語が漢語である比率は、異なり語数も延べ語数も65%ほどであり、ほかの語種と比べ、圧倒的に高い数値である。外来語の延べ語数の比率は異なり語数と比べ、増加していることから、使用頻度が高く繰り返して出現する外来語が多いということがうかがえる。外来語とは逆に、混種語の延べ語数の比率は、異なり語数と比べ、6%ほど減少する。「当」と結合する混種語と和語の延べ語数の比率は5%以下であり、極めて少ない。

語種ごとに具体的にどのような語が「当」と結合するのかを表の形にまとめる。レイアウトの関係で、全語種を一つの表にまとめるのが不可能なため、漢語を表4、和語・外来語・混種語を表5にまとめる。また、後接語すべての詳細は最後の付録に譲るが、ここでは、各語種の語数が上位10位の語を語数の多い順にまとめた結果を示す。

(44)

表4 「当」の後接語が漢語である具体例

	二字漢語		三字漢語		四字漢語		五字漢語		六字以上漢語	
	語例	語数	語例	語数	語例	語数	語例	語数	語例	語数
1	年度	27	委員会	317	営業年度	4	調停委員会	2	社会福祉協議会	2
2	法人	24	大学塾	11	監査法人	3	法務委員会	2	歴史民俗資料館	1
3	協会	17	研究所	9	掲載音源	1	予算委員会	2	実行委員会事務局	1
4	病院	16	裁判所	9	情報収集	1	建設委員会	1	決算行政監視委員会	1
5	地域	15	協議会	7	文教委員	1	教育委員会	1	農林水産常任委員会	1
6	地方	11	事業所	4	医療法人	1	実行委員会	1	農林水産委員会	1
7	管内	10	審判所	4	初電調審	1	専門委員会	1	大東亜共和国	1
8	大学	10	自治会	4	新築家屋	1	—	—	鉱物学研究所	1
9	会社	10	事務所	3	—	—	—	—	後援会事務所	1
10	施設	8	編集部	3	—	—	—	—	—	—

表5 「当」の後接語が和語・外来語・混種語である具体例

	和語		外来語		混種語	
	語例	語数	語例	語数	語例	語数
1	屋敷	6	ブログ	158	営業日	15
2	係	5	センター	42	取引所	6
3	組合	5	サイト	17	スキー場	3
4	宮	2	クリニック	11	ひろば窓口	1
5	城	2	ホテル	8	商品取扱店	1
6	馬	2	コーナー	6	イエズス会本部	1
7	岩国	1	グループ	6	埋蔵文化財センター	1
8	江戸	1	ルーム	4	大蔵委員会	1
9	西新井	1	オークション	3	地元直売グループ	1
10	宿	1	ホーム	2	共済組合	1

4.2 意味分野について

「当」の後接語の意味分野については、『分類語彙表 増補改訂版』（大日本図書、2004 以下『分類語彙表』と省略）を参考にし、分類を行った。ただし、『分類語彙表』に収録されていない語は、筆者自身の判断で分類する。また、後接語の意味分野を分類する際、文脈的要素も考慮に入れるため、『分類語彙表』は参考として使用し、必ずしも一致しているとは限らない。例えば、「ルーム」という後接語があり、『分類語彙表』に

は、「部屋」という意味で、「1.44住居」に分類されているが、具体的な文脈を確認すると、「生涯学習ルーム」ということで、勉強する場所の意味であるので、「図書館」と同様に、「1.26社会」に分類した。

後接語の内訳を大項目別に示すと以下の表6のようになる。

表6 「当」の後接語の意味分野（大項目）語数と比率

大項目	異なり語数	比率	延べ語数	比率
1.1抽象的關係	24	10.30%	132	11.80%
1.2人間活動の主体	124	53.22%	686	61.30%
1.3人間活動精神および行為	51	21.89%	246	21.98%
1.4生産物および用具	31	13.30%	51	4.56%
1.5自然物および自然現象	3	1.29%	4	0.36%
合計	233	100%	1119	100%

「当」の後接語はすべて「1.体の類」に属する。「連載・運動・解析」などのサ変動詞語幹になる用言類も「1.体の類」に含まれている。「当」は、「1.2人間活動の主体」を表す後接語ともっとも結合しやすく、異なり語数の半数以上、延べ語数の60%を超えている。それに次ぐ「1.3人間活動精神および行為」と「1.1抽象的關係」は、それぞれ20%以上、10%以上の比率を占めている。「1.4生産物および用具」の延べ語数の比率は異なり語数と比べて、8.7%ほど減少している。「1.4生産物および用具」を表す語には、使用頻度が低い語が多く含まれていると考えられる。「1.5自然物および自然現象」を表す語は、わずか「島・馬・動物」の3語であり、「当」と非常に結合しにくい。

さらに詳しく意味分野を分析するために、「当」の後接語を中項目で分類してみた。表7はその分類した結果である。ただし、「施設」のように、複数の意味分野を持っている語が存在する。BCCWJから、「当施設」を8例収集した。その中に、「1.26社会」を表す「施設」が2例、「1.27機関」を表す「施設」が6例になる。同じ語であるものの、複数の意味分野に分類されるケースがあるため、異なり語数の統計が困難になる。「施設」を2回数えるのは適切ではないし、1回だけ数えるのも、意味分野の違いが見られない。よって、ここでは、延べ語数としてのデータだけを示す。

また、語種と同様に、全データは最後の付録を参照されたいが、ここでは、延べ語数が上位8位の中項目に絞って、具体的にどのような語があるのかを表8のようにまとめる。延べ語数が上位8位の中項目は「1.27機関」（延べ語数513）、「1.32芸術」（同164）、「1.26社会」（同156）、「1.17空間」（同71）、「1.16時間」（同52）、「1.31言語」（同35）、「1.44住居」（同23）、「1.38事業」（同16）である。

(46)

表7 「当」の後接語の意味分野（中項目）語数と比率

意味コード	大項目	中項目	延べ語数
1.10	抽象的關係	事柄	2 (0.18%)
1.11		類	5 (0.45%)
1.15		作用	1 (0.09%)
1.16		時間	52 (4.65%)
1.17		空間	71 (6.34%)
1.19		量	1 (0.09%)
1.23	人間活動の主体	人物	1 (0.09%)
1.24		成員	9 (0.80%)
1.25		公私	7 (0.63%)
1.26		社会	156 (13.94%)
1.27		機関	513 (45.84%)
1.30	人間活動精神および行為	心	10 (0.89%)
1.31		言語	35 (3.13%)
1.32		芸術	164 (14.63%)
1.33		生活	2 (0.18%)
1.34		行為	3 (0.27%)
1.35		交わり	10 (0.89%)
1.36		待遇	1 (0.09%)
1.37		経済	5 (0.45%)
1.38		事業	16 (1.43%)
1.40		生産物および用具	物品
1.44	住居		23 (2.06%)
1.45	道具		8 (0.71%)
1.46	機械		2 (0.18%)
1.47	土地利用		15 (1.34%)
1.52	自然物および自然現象	天地	1 (0.09%)
1.55		動物	3 (0.27%)
		(合計)	1119 (100%)

「1.27機関」の比率は45.84%であり、「1.32芸術」の比率は14.63%である。それぞれ、第1位と第2位を占める。しかし、それは「委員会」と「ブログ」がそれぞれ317回、158回出現していることが原因だと考えられる。「1.26社会」は13.94%の比率を占めており、第三位である。その次は「1.17空間」、「1.16時間」と「1.31言語」であり、それぞれ6.34%、4.65%と3.13%の比率を占めている。それ以外の中項目は1%ほどの比率で、出現する比率が低いといえる。

表8 延べ語数が多い中項目の具体例

	1.27機関		1.32芸術		1.26社会		1.17空間	
	語例	語数	語例	語数	語例	語数	語例	語数
1	委員会	317	ブログ	158	病院	16	サイト	17
2	センター	40	語録	3	大学塾	11	地域	15
3	法人	24	『ガス燈』	1	クリニック	11	地方	11
4	協会	17	『ドールハウス』	1	大学	10	管内	10
5	裁判所	9	映画	1	会社	10	コーナー	6
6	公団	7	—	—	研究所	9	地区	4
7	協議会	7	—	—	ホテル	8	教区	3
8	グループ	6	—	—	取引所	6	方面	2
9	施設	5	—	—	道場	6	基地	1
10	組合	5	—	—	学院	4	遺跡	1

	1.16時間		1.31言語		1.44住居		1.38事業	
	語例	語数	語例	語数	語例	語数	語例	語数
1	年度	27	方言	6	屋敷	6	企業	7
2	営業日	15	講座	5	宮	2	事業	5
3	歴年	4	記事	3	城	2	連載	2
4	営業年度	4	発音	2	パビリオン	2	運送サービス	1
5	中間期	1	答申	2	マンション	1	工事	1
6	正月	1	会議	2	岡崎城	1	—	—
7	—	—	白書	2	朝倉家	1	—	—
8	—	—	報告書	2	工房	1	—	—
9	—	—	福音書	2	実験室	1	—	—
10	—	—	ネットワーク	1	相談室	1	—	—

4.3 語種と意味分野の関係について

以下では「当」の後接語の語種と意味分野との関係を見てみる。図1は、異なり語数のデータをまとめた結果を示したものである。

(48)

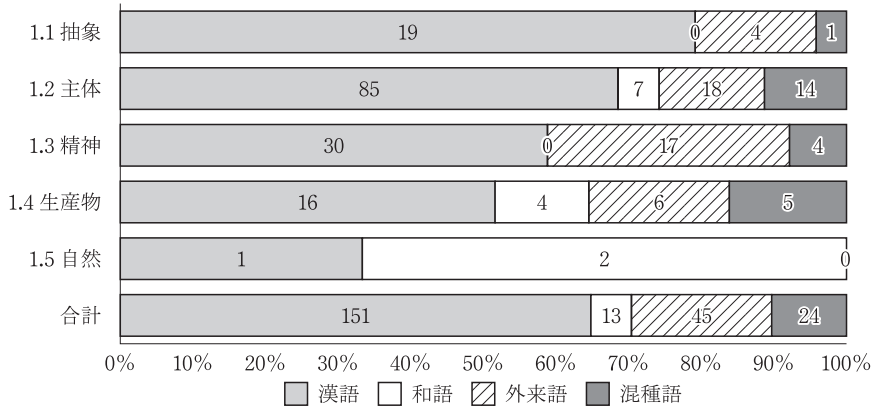


図1 「当」の意味分野 語種別異なり語数と比率

「抽象」「主体」「精神」「生産物」「自然」は、それぞれ、「抽象的な関係」「人間活動の主体」「人間活動精神および行為」「生産物および用具」「自然物および自然現象」の略称である。以下も同様。

「1.1抽象的關係」では、語数は多くないが、比率からみれば、漢語が圧倒的に多い。「1.2人間活動の主体」は「合計」とほぼ同じ形になり、同様の傾向が見られる。「1.3人間活動精神および行為」を表す外来語の比率は、ほかの意味分野における外来語の比率より、明らかに目立つ。「1.4生産物および用具」には、漢語の語数が最も多いが、比率は50%ぐらいで、決して高い比率だとはいえない。それに対し、混種語の比率は、ほかの意味分野における混種語よりやや高い。「1.5自然物および自然現象」を表す語と和語のデータ数が少ないため、顕著な特徴が見られない。

次は、延べ語数についての調査結果である。

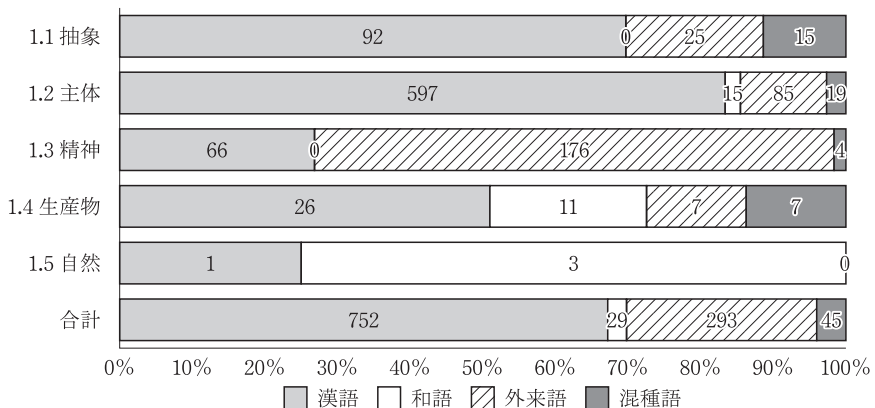


図2 「当」の意味分野 語種別延べ語数と比率

漢語は「人間活動の主体」に、外来語は「人間活動精神および行為」に、和語は「生産物および用具」に、混種語は「生産物および用具」と「抽象的關係」に、比較的集中している傾向が見られる。「1.3人間活動精神および行為」には、漢語の比率は26.47%であるのに対して、外来語は72.27%であり、異常ともいえる数値が示されているのは、158回出現している「ブログ」という語の影響だと考えられる。

5. 「当+の+名詞」用法について

「当」は名詞に直接接続するだけでなく、「の」を介在して接続する場合がある。このような「当+の+名詞」という用法について説明する。まず、例文を見てみよう。

- (10) まあ、感性の世界なので、変わっている人ばかりなのは仕方ないことですし、当の私自身もそのうちのひとりなのですが…。

(村正勇次郎『花屋が誰も書けなかった
「花屋で成功するための本」』文芸社. 2002)

- (11) 「拓巳くんの心の傷を思ったことがあります？ だいたいあなたは—」当の拓巳は虚空をただ凝視している。

(永瀬隼介『わたしが愛した愚か者』文藝春秋. 2005)

- (12) どちらが本当なのか、当の本人にもわかりはしない。

(真慈真雄『ショットガンレディ』
キルタイムコミュニケーション. 2004)

- (13) まず、当の息子さんがまったく関知しないところでご両親が新居を探しているのですが、息子さんにしてみれば…

(猪俣淳『アパート大家さんになった12人の
フツウの人々』にじゅういち出版. 2005)

連体詞型接辞性字音形態素「当」の用例を集める際、例文(10)～(13)で示したように、「当+の+名詞」用法が623例見つかった。傾向としては、「の」の後ろの名詞は、「本人・人称代名詞・人の名前」などの「ひと」を表す語が多く、623例のうち、490例があった。「当の」の意味は、「その」という意味になるが、「その」より、対象名詞を強く指し示す感じを与えてくる。「当の」が指し示す人を中心人物として捉える。「指し示す」の度合いの強さという点で、「その」との違いが見られる。

また、「当+の+名詞」用法の発話者はより客観的な第三者の立場に立つのである。(13)の「息子」の後ろに「さん」をつけたことは、発話者が第三者の立場に立つ証拠になるだろう。「当の」をつけると、「私自身」「本人」「息子さん」などの話題人物から一定の距離を置き、客観的な述べ方で述べる感じを与えてくる。

「当+の+名詞」用法は、本稿の研究対象の中心ではないため、現象の指摘にとどめておきたい。

6. おわりに

本稿では、BCCWJより、連体型接辞性字音形態素「当」の合成語として延べ語数1119、異なり語数233のデータが得られた。

どのような語と結合して合成語を形成するのかを分析した結果、後接語の語種については、異なり語数も延べ語数も漢語・外来語・混種語・和語という順に語数が多いことがわかった。また、後接語の意味分野については、「1.2人間活動の主体」を表す後接語が半数以上の比率を占めている。特に、「社会」と「機関」この二つの中項目に集中する傾向が見られる。

「当」と同じく連体詞型で、しかも類似した意味用法を持つ接辞性字音形態素には、もう一つ、「本」がある。「本」のデータ分析と合わせ、両方の比較分析は、今後の課題である。

また、字音形態素「当」は「この」「その」と解釈されるのが多いため、字音形態素と和語系指示詞の対照研究も興味深い課題になるだろう。これも今後の課題としたい。

参考文献

[用例出典]

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ) オンライン版。国立国語研究所

[辞書類]

『新選国語辞典 第九版』。金田一京助 他。小学館。2011

『新明解国語辞典 第七版 机上版』。山田忠雄 他。三省堂。2012

『分類語彙表 増補改訂版』。国立国語研究所。大日本図書。2004

[引用文献]

野村雅昭(1978)「接辞性字音語基の性格」『国立国語研究所報告61 電気計算機による国語研究IV』。pp.102-138。秀英出版

山下喜代(2004)「日本語教育における語彙指導—字音接辞の指導を中心にして—」『青山語文』34。pp.142-153。青山学院大学日本文学会

山下喜代(2013)「接辞性字音形態素の造語機能」『現代日本漢語の探究』。pp.83-108。東京堂出版

付録 「当」の後接語および付加される情報の一覧表

各後接語は出現数が多い順に並んでいる。出現数が同じ場合は、意味コード順に並んでいる。
同じ語形が複数の意味分野を持っている場合は①②をつけて区別する。

後接語	出現数	語種	意味コード	大項目	中項目
委員会	317	漢語	1.27	主体	機関
ブログ	158	外来語	1.32	精神	芸術
センター①	40	外来語	1.27	主体	機関
年度	27	漢語	1.16	抽象	時間
法人	24	漢語	1.27	主体	機関
サイト	17	外来語	1.17	抽象	空間
協会	17	漢語	1.27	主体	機関
病院	16	漢語	1.26	主体	社会
営業日	15	混種語	1.16	抽象	時間
地域	15	漢語	1.17	抽象	空間
地方	11	漢語	1.17	抽象	空間
大学塾	11	漢語	1.26	主体	社会
クリニック	11	外来語	1.26	主体	社会
管内	10	漢語	1.17	抽象	空間
大学	10	漢語	1.26	主体	社会
会社	10	漢語	1.26	主体	社会
研究所	9	漢語	1.26	主体	社会
裁判所	9	漢語	1.27	主体	機関
ホテル	8	外来語	1.26	主体	社会
公団	7	漢語	1.27	主体	機関
協議会	7	漢語	1.27	主体	機関
企業	7	漢語	1.38	精神	事業
コーナー	6	外来語	1.17	抽象	空間
取引所	6	混種語	1.26	主体	社会
道場	6	漢語	1.26	主体	社会
グループ	6	外来語	1.27	主体	機関
方言	6	漢語	1.31	精神	言語
屋敷	6	和語	1.44	生産物	住居
係	5	和語	1.24	主体	成員
施設①	5	漢語	1.27	主体	機関
組合	5	和語	1.27	主体	機関
講座	5	漢語	1.31	精神	言語
事業	5	漢語	1.38	精神	事業
画像	5	漢語	1.45	生産物	道具
暦年	4	漢語	1.16	抽象	時間
営業年度	4	漢語	1.16	抽象	時間
地区	4	漢語	1.17	抽象	空間
学院	4	漢語	1.26	主体	社会
ルーム	4	外来語	1.26	主体	機関
事業所	4	漢語	1.26	主体	社会
法廷	4	漢語	1.26	主体	社会
審判所	4	漢語	1.27	主体	機関

自治会	4	漢語	1.27	主体	機関
事例	3	漢語	1.11	抽象	類
教区	3	漢語	1.17	抽象	空間
施設②	3	漢語	1.26	主体	社会
支店	3	漢語	1.26	主体	社会
教会	3	漢語	1.26	主体	社会
神社	3	漢語	1.26	主体	社会
事務所	3	漢語	1.26	主体	社会
編集部	3	漢語	1.27	主体	機関
相談所	3	漢語	1.27	主体	機関
監査法人	3	漢語	1.27	主体	機関
制度	3	漢語	1.30	精神	心
企画	3	漢語	1.30	精神	心
記事	3	漢語	1.31	精神	言語
語録	3	漢語	1.32	精神	芸術
オークション	3	外来語	1.37	精神	経済
庭園	3	漢語	1.47	生産物	土地利用
戦域	3	漢語	1.47	生産物	土地利用
スキー場	3	混種語	1.47	生産物	土地利用
方面	2	漢語	1.17	抽象	空間
教室	2	漢語	1.26	主体	社会
美術館	2	漢語	1.26	主体	社会
ホーム	2	外来語	1.26	主体	社会
センター②	2	外来語	1.27	主体	機関
調査会	2	漢語	1.27	主体	機関
税務署	2	漢語	1.27	主体	機関
公庫	2	漢語	1.27	主体	機関
調停委員会	2	漢語	1.27	主体	機関
法務委員会	2	漢語	1.27	主体	機関
予算委員会	2	漢語	1.27	主体	機関
部隊	2	漢語	1.27	主体	機関
集団	2	漢語	1.27	主体	機関
団体	2	漢語	1.27	主体	機関
社会福祉協議会	2	漢語	1.27	主体	機関
連合会	2	漢語	1.27	主体	機関
取材班	2	漢語	1.27	主体	機関
事業団	2	漢語	1.27	主体	機関
問題	2	漢語	1.30	精神	心
発音	2	漢語	1.31	精神	言語
答申	2	漢語	1.31	精神	言語
会議	2	漢語	1.31	精神	言語
白書	2	漢語	1.31	精神	言語
報告書	2	漢語	1.31	精神	言語
福音書	2	漢語	1.31	精神	言語
運動	2	漢語	1.34	精神	行為
連載	2	漢語	1.38	精神	事業

物件	2	漢語	1.40	生産物	物品
宮	2	和語	1.44	生産物	住居
城	2	和語	1.44	生産物	住居
パビリオン	2	外来語	1.44	生産物	住居
製品	2	漢語	1.45	生産物	道具
馬	2	和語	1.55	自然	動物
現象	1	漢語	1.10	抽象	事柄
資料	1	漢語	1.10	抽象	事柄
パターン	1	外来語	1.11	抽象	類
掲載音源	1	漢語	1.11	抽象	類
情報収集	1	漢語	1.15	抽象	作用
中間期	1	漢語	1.16	抽象	時間
正月	1	漢語	1.16	抽象	時間
基地	1	漢語	1.17	抽象	空間
遺跡	1	漢語	1.17	抽象	空間
調査地	1	漢語	1.17	抽象	空間
ユニット	1	外来語	1.19	抽象	量
外来	1	漢語	1.23	主体	人物
委員	1	漢語	1.24	主体	成員
文教委員	1	漢語	1.24	主体	成員
リポーター	1	外来語	1.24	主体	成員
管理人	1	漢語	1.24	主体	成員
大東亜共和国	1	漢語	1.25	主体	公私
商店街	1	漢語	1.25	主体	公私
岩国	1	和語	1.25	主体	公私
江戸	1	和語	1.25	主体	公私
西新井	1	和語	1.25	主体	公私
葛巻地区	1	混種語	1.25	主体	公私
横浜市	1	混種語	1.25	主体	公私
会場	1	漢語	1.26	主体	社会
議場	1	漢語	1.26	主体	社会
ひろば窓口	1	混種語	1.26	主体	社会
コピー塾	1	混種語	1.26	主体	社会
鉱物学研究所	1	漢語	1.26	主体	社会
試験場	1	漢語	1.26	主体	社会
鉱山	1	漢語	1.26	主体	社会
有名メーカーさん	1	混種語	1.26	主体	社会
後援会事務所	1	漢語	1.26	主体	社会
事業場	1	漢語	1.26	主体	社会
新聞社	1	漢語	1.26	主体	社会
養魚場	1	漢語	1.26	主体	社会
NBC テレビ	1	外来語	1.26	主体	社会
NTT	1	外来語	1.26	主体	社会
空港	1	漢語	1.26	主体	社会
店舗	1	漢語	1.26	主体	社会
旅館	1	漢語	1.26	主体	社会

(54)

医院	1	漢語	1.26	主体	社会
宿	1	和語	1.26	主体	社会
商品取扱店	1	混種語	1.26	主体	社会
歴史民俗資料館	1	漢語	1.26	主体	社会
博物館	1	漢語	1.26	主体	社会
資料館	1	漢語	1.26	主体	社会
アサダブライダルホール	1	外来語	1.26	主体	社会
ブティック	1	外来語	1.26	主体	社会
ホスピス	1	外来語	1.26	主体	社会
レストラン	1	外来語	1.26	主体	社会
公判廷	1	漢語	1.26	主体	社会
拘置所	1	漢語	1.26	主体	社会
サロン	1	外来語	1.26	主体	社会
機構	1	漢語	1.27	主体	機関
支部	1	漢語	1.27	主体	機関
イエズス会本部	1	混種語	1.27	主体	機関
埋蔵文化財センター	1	混種語	1.27	主体	機関
実行委員会事務局	1	漢語	1.27	主体	機関
JA	1	外来語	1.27	主体	機関
審査会	1	漢語	1.27	主体	機関
営林署	1	漢語	1.27	主体	機関
核施設	1	漢語	1.27	主体	機関
国会	1	漢語	1.27	主体	機関
大蔵委員会	1	混種語	1.27	主体	機関
決算行政監視委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
農林水産常任委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
農林水産委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
評議会	1	漢語	1.27	主体	機関
建設委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
教育委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
実行委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
専門委員会	1	漢語	1.27	主体	機関
組織	1	漢語	1.27	主体	機関
財団	1	漢語	1.27	主体	機関
組	1	和語	1.27	主体	機関
地元直売グループ	1	混種語	1.27	主体	機関
共済組合	1	混種語	1.27	主体	機関
森林組合	1	混種語	1.27	主体	機関
事務組合	1	混種語	1.27	主体	機関
多数派	1	漢語	1.27	主体	機関
研究会	1	漢語	1.27	主体	機関
医療法人	1	漢語	1.27	主体	機関
初電調審	1	漢語	1.27	主体	機関
クラスター	1	外来語	1.27	主体	機関
クラブ	1	外来語	1.27	主体	機関
サークル	1	外来語	1.27	主体	機関

解析	1	漢語	1.30	精神	心
方式	1	漢語	1.30	精神	心
ネットワーク	1	外来語	1.31	精神	言語
報告	1	漢語	1.31	精神	言語
設問	1	漢語	1.31	精神	言語
コラム	1	外来語	1.31	精神	言語
ページ	1	外来語	1.31	精神	言語
シリーズ	1	外来語	1.31	精神	言語
マニュアル	1	外来語	1.31	精神	言語
“SCREEN”	1	外来語	1.31	精神	言語
番組	1	混種語	1.31	精神	言語
『ガス燈』	1	混種語	1.32	精神	芸術
『ドールハウス』	1	外来語	1.32	精神	芸術
映画	1	漢語	1.32	精神	芸術
ツアー	1	外来語	1.33	精神	生活
レース	1	外来語	1.33	精神	生活
権利	1	漢語	1.34	精神	行為
オーケストラ	1	外来語	1.35	精神	交わり
オケ	1	外来語	1.35	精神	交わり
検討会	1	漢語	1.35	精神	交わり
交流会	1	漢語	1.35	精神	交わり
懇話会	1	漢語	1.35	精神	交わり
部会	1	漢語	1.35	精神	交わり
フォーラム	1	外来語	1.35	精神	交わり
提携	1	漢語	1.35	精神	交わり
コンペ	1	外来語	1.35	精神	交わり
作戦	1	漢語	1.35	精神	交わり
アワード	1	外来語	1.36	精神	待遇
ファンド	1	外来語	1.37	精神	経済
ネット通販	1	混種語	1.37	精神	経済
運送サービス	1	混種語	1.38	精神	事業
工事	1	漢語	1.38	精神	事業
商品	1	漢語	1.40	生産物	物品
鶴丸城	1	混種語	1.44	生産物	住居
岡崎城	1	混種語	1.44	生産物	住居
朝倉家	1	混種語	1.44	生産物	住居
マンション	1	外来語	1.44	生産物	住居
蔵	1	和語	1.44	生産物	住居
新築家屋	1	漢語	1.44	生産物	住居
工房	1	漢語	1.44	生産物	住居
実験室	1	漢語	1.44	生産物	住居
相談室	1	漢語	1.44	生産物	住居
研究室	1	漢語	1.44	生産物	住居
トイレ	1	外来語	1.44	生産物	住居
FA ガンダム	1	外来語	1.45	生産物	道具
機器	1	漢語	1.46	生産物	機械

(56)

飛行機	1	漢語	1.46	生産物	機械
敷地	1	混種語	1.47	生産物	土地利用
古墳	1	漢語	1.47	生産物	土地利用
競馬場	1	漢語	1.47	生産物	土地利用
プラザ	1	外来語	1.47	生産物	土地利用
インターチェンジ	1	外来語	1.47	生産物	土地利用
排水路	1	漢語	1.47	生産物	土地利用
島	1	和語	1.52	自然	天地
動物	1	漢語	1.55	自然	動物